

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年3月31日
2次評価日（課長等）	26年3月31日

1 事業名	児童生徒の安全対策事業			コード	101401	
2 担当部課	部等	教育部	課等	教育総務課	作成者	高橋 卓
3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち			
		政 策	生涯学習の推進	施 策	学校教育の推進	
		予算科目	(なし)	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし	
		根拠法令	なし			

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	児童生徒の登下校中の見守りや長期休業中の生活指導、安全推進体制の充実等実施		
目的	対象者	児童・生徒	
	意 図	児童生徒の安全を確保し、安心して学ぶことができる環境を確立する。	

5 事業の実施内容	*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<p>児童生徒の学校生活及び登下校、地域生活等における各種の安全対策事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新学期交通安全指導 … 新入学児童を中心に、登下校時の正しい安全な歩行について、教職員、PTA、関係機関の協力を得て街頭指導を行った。 ・ふれあいたいむ … 児童生徒が登下校する時間帯に、屋外で作業等を行いながら子どもの安全を見守った。また、推進旬間（5月20日～29日 10月21日～30日）を設け、啓発活動を行った。 ・夏休み等の長期休業中の生活指導 … 休み中の家庭学習、家庭生活、社会生活、あいさつ、健康、安全と事故防止について、学校及びPTAにて基本目標を設定し、児童生徒が健康で規則正しい生活が送れるように指導した。 ・学校における安全教育の推進 … 学校・警察・行政等関係機関が連携して、安全に対する啓発活動、各種訓練、危機管理マニュアルの整備・見直し、安全点検等を実施した。 ・地域ぐるみの学校安全教育の推進 … 「子どもを守る地域安全指導マップ」を作成し、意識啓発を図るとともに、「安心の家」と連携して、安全指導を行った。 ・通学路の緊急合同点検 … 昨年度実施した通学路における緊急合同点検を受けて、ハード対策が必要な44箇所のうち、16箇所について安全対策を実施した。 			
前年度の課題への対応	「ふれあいたいむ」事業を推進し、見守りの強化を図った。		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 活動指標（指標名）	学校安全教育実施校数			単位 校
	実績値	12	12	12
	*指標の説明	学校で安全教育を実施している校数		
② 成果指標（指標名）	地域見守り活動組織数			単位 件
	目標値	18	18	18
	実績値	18	18	18
	達成度	100.0%	100.0%	100.0%
	*指標の説明	地域の住民等が見守り活動をしている組織の数		
	*目標値の設定方法の説明	過去3年間の実績値の最大値		

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	0	0	0	0
経常経費	0	0	0	0
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	1,600,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000
正規職員の人数(人)	0.20	0.50	0.50	0.50
③ 合計コスト(①+②)	1,600,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000
前年度比		250.0%	100.0%	100.0%
財源内訳				
一般財源	1,600,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000
特定財源	0	0		
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	133,333	333,333	333,333	
前年度比		250.0%	100.0%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	1	
成果指標の実績値 前年度比	100.0%	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	1	
成果指標の目標値 達成度	100.0%	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の緊急合同点検実施箇所以外の危険箇所の点検及び対策をどの様に施すかが課題である。 ・地域ボランティアによる児童生徒の見守り活動をいかに拡大、継続していくか、また、見守り活動を通した子どもの地域生活、成長支援をどのようにしていくかが課題である。 	
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急合同点検を実施した時のような組織を立ち上げ、定期的な点検及び対策会議を行う。 ・道路管理者等との点検実施や学校、地域と連携し、地域住民誰もが意識して児童生徒の見守りやあいさつができるように「ふれあいたいむ」事業をより一層推進し、見守りの強化を図る。 	
	改善開始時期	平成26年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---